

「ガラスウォール(耐力壁)」でグッドデザイン賞を受賞

光が通り抜ける耐力壁で大空間・大開口ニーズに対応

株式会社アキュラホーム(本社:埼玉県さいたま市、社長:宮沢俊哉)は、独自に開発した縦格子デザインの耐力壁「ガラスウォール」で財団法人日本産業デザイン振興会主催の「2006年度グッドデザイン賞」(Gマーク)を受賞しました。これは商品デザイン部門/住宅設備の部門で昨年の「匠階段(スケルトン)」に続く2年連続の受賞です。

アキュラホームは、お客様にご満足いただける高品質・適正価格住宅を提供するために、これまで多くの合理化や技術革新を行ってまいりました。「ガラスウォール」は東京大学大学院との共同研究により開発された、光を遮らない耐力壁です。解放性の高い空間や可変性向上のためのスケルトンインフィル化の推進など、大開口・大空間のニーズに対応いたします。また、新築住宅だけでなく古民家再生や耐震改修など、リフォーム分野での活用にも対応できます。



商品概要

昨今の住宅需要として、たくさんの光を取り込む大開口やスケルトンインフィルによる大空間の消費者ニーズが高まるにつれて、耐震強度をしっかりと確保するための耐力壁が重要な要素となっています。新開発の「ガラスウォール」は、壁でもなく開口でもない、中間的な要素である「格子」に構造耐力を持たせました。使用する素材は木とガラス(またはポリカーボネート)。格子の間部分に強化ガラスを挟み、全体で壁としての強度を持たせています。採光性とともにも多様な居住空間にもマッチするシンプルな縦格子デザインは構造耐力と空間の連続性を両立させ開放的な空間設計を可能とします。「ガラスウォール」は、広く普及したプレカット技術と伝統工法の木組みの技術だけで組み立てられています。

ガラスウォール 価格: 600,000~750,000円/セット(オープン価格)

商品のポイント

開放性、空間連続性を持ちながら、壁倍率2.5相当の耐力を持つ

精度の高い木造軸組みプレカット技術と大工の匠の技術を融合させ、安価かつ強固な壁を実現した。

古民家再生、耐震補強において使用しても、空間イメージを大きく損ねることなく、耐震強度向上が図れる。

受賞理由

グッドデザイン賞の審査委員からは「耐力壁に採光性を加え、シンプルなデザインで汎用性も高い。広い開口部への要求と耐震性能という相反する問題を解決し、リフォーム市場においても広く活用できるなど、これからの住宅設備市場を拓くものと期待される」と高い評価をいただきました。

また、アキュラホームが事務局を務める次世代の住宅供給ネットワーク「ジャープネット」(会員数約600社)は、匠の技術を持つ工務店による全国組織で、そのスケールメリットと直接施工によって低廉な注文住宅を供給しています。今後はこの全国の会員工務店からも、グッドデザイン賞を受賞したこの耐力壁を供給していくことを計画しています。

<本件についての報道関係からのお問い合わせ先> 株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・川畑

Email: horikosi@aqura.co.jp TEL: 048-631-3020(ダイヤルイン) FAX: 048-631-2334

写真データは下記URLよりダウンロードすることができます。 URL: <http://www.aqura.co.jp/news.html>

グッドデザイン賞(Gマーク)について

「グッドデザイン賞」は、1957年に通商産業省によって創設された「グッドデザイン商品選制度」を継承して、1998年より財団法人日本産業デザイン振興会の主催事業となった、わが国唯一の総合的デザイン評価・推奨システムです。新しい時代の文化と生活を創造することを目的に「より豊かなライフスタイル」と「良いビジネス」を導く制度として、国内外の多くの企業や団体が参加しています。また、「グッドデザイン賞」受賞のシンボルである「Gマーク」は広く一般に親しまれています。

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」事をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅事業の中で培った経験や技術力を活かして住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、これを駆使することでお客様本位の高品質でありながら坪30万円以下で建築可能な注文住宅を提供し続け、業界をリードしています。また、全国の地域ビルダー・工務店約631社によるネットワーク「JAHbnet(ジャープネット)」(旧アキュラネット)を主宰し、そのスケールメリットを活用して、高品質ながら低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入しています。特に、2001年に坪21万円からというローコスト住宅「M21」で話題になって以来、高気密高断熱(次世代省エネ)住宅、太陽光発電搭載住宅、オール電化住宅、などを相次いで坪30万円以下で発売し話題を集めました。

こうした全国工務店の活性化につながる活動は、国や官庁、地方公共団体からも注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされました。また、2005年10月には自らのIT活用に加え、遅れているといわれる住宅建設業界でのIT活用の普及に顕著な貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章しました。最近では東京都による「住宅価格3割引き下げ実証実験」で圧倒的な低価格提案(他提案が2/3に引下げるなか1/2の価格を提案)をもって事業予定者に選定されました。

ジャープネット(JAHbnet)

弊社は1978年の創業以来、高品質で低価格な住宅の供給に取り組み、94年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を全国工務店に供給開始し、現在2400社以上の工務店に導入されています。98年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャープネット)を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに約8年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供してきました。アキュラネットには600社あまりが加盟し、2005年度の木造住宅累計販売棟数は9102棟、フランチャイズチェーン・ボランタリーチェーンの販売棟数ランキングで1位となっています。こうして技術力のある地域工務店・ビルダーが集まることでスケールメリットを創出し、加えて第三者機関による工事検査や住宅保証制度による保険、建設前の地盤調査などを実施することで、良質・低価格・安心の制度を確立しました。

そして2005年9月16日よりお客様の多様なニーズに応えるために、名称を「JAHbnet(ジャープネット)」と変更し、**業種の壁を超えた新しい連携を取り入れ、より理想に近い住宅供給を実現する次世代型住宅供給ネットワークとして生まれ変わりました。** 住宅産業研究所データによる

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-16 シーノ大宮ノースウィング15階
電話	048-631-2333(代)
創業	1978(昭和53)年9月
資本金	9,314万円
従業員数	452名(06年4月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	159億円(06年2月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp